

大分教育事務所訪問 58

大分市立上野ヶ丘中学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「志高く『凛として』生きていく生徒の育成」を達成するために、重点目標を、

○他者とのかかわり(より良い人間関係・集団づくり)

○「自己との対話・振り返り(目標達成に向けた粘り強い取組)」と定め、全ての教育活動においてこれらを意識して取り組んでいます。

本校の注目すべき点は、右の図のように3年間を見通した計画を定めているところです。このことで、教職員の異動があっても継続的な取組を行うことができ、また、長期的な展望に立って生徒達につけるべき資質・能力の育成が可能となります。

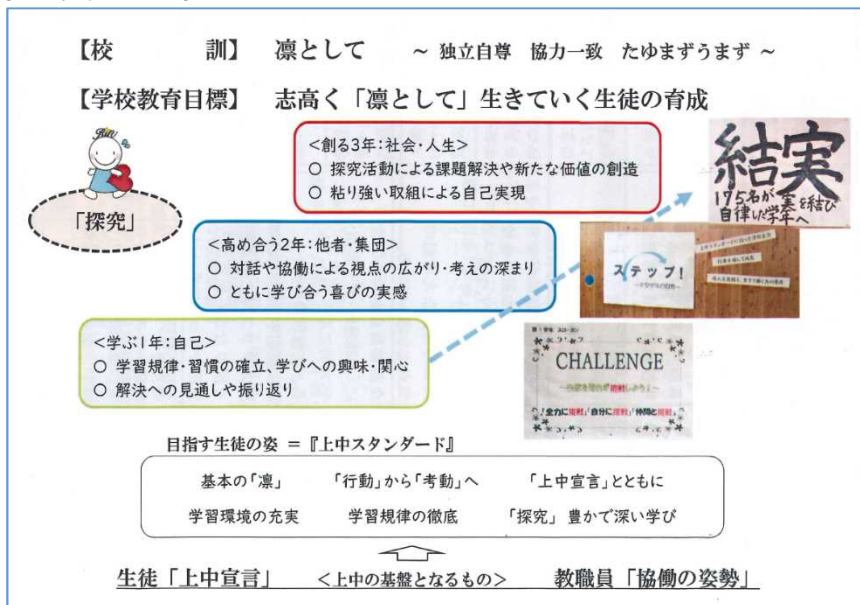
さらに、2学期の学校経営についても、1学期末の数値をもとに提案をしていますが、数値目標が目的にならないよう、何のために行うのか、どのような資質・能力を育成するかが明確となっています。(私は読んでいてワクワクしました！)

これからも、協議の時に確認をしました、「人間関係づくり(人間関係調整力)」「粘り強さ」を最上位の目標とし、それぞれの取組についても、「どのような力をつけるために行うのか」の共通理解を図り、そのための手段(方法)は担当者に任せてみてはいかがでしょうか。そのことで、担当者の当事者意識や学校経営への関心がより高くなると思います。

授業から学ぶ

1年5組の数学では、手作り教具のアイデアと完成度の高さに驚きました。2年2組の理科では、ワークシートを見て先読みしながら自主的に課題に取り組む生徒が多かったです。

今後は、本校の具体的な取組にあるように、指導案の「振り返り」において、生徒がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にして明記されてみてはいかがでしょうか。そのことで、本時の「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり、教科等が何であれ授業改善の検証ができ、授業力の向上が推進されると思います。



**知りたい!**  
自分の力で解いたから、つまづいた所がわかるから、ちょっと課題が難しいから、知りたくなる。意欲が高まる。



**教科書と**  
対話するのは友達だけでない。教科書と対話をする、疑問が解決し、自分の考えが深まる。



**温かさが伝わる**  
教具作りは大変です。きっと、生徒達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、試行錯誤しながら作ったでしょうね。